

# ジョイセフ・パートナーシップ・プログラム (JPP) アフガニスタン 妊産婦と女性を守る保健推進プロジェクト 2015 年報告書



**プロジェクト期間：** 2015年1月～12月

**プロジェクト地域及び人口：** ナンガハール州ジャララバード市内の10村 3万3200人

**現地協力団体：** アフガン医療連合センター (UMCA)

**支援協力：** 三菱東京UFJ銀行および三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、全国電力関連産業労働組合総連合、公益財団法人ベルマーク教育助成財団他、企業・団体・個人からの寄附金

教育や保健医療、経済をはじめ、様々な分野で、アフガニスタンの女の子や女性が置かれた状況は改善してきました。

しかし、女性の医療従事者がいなければ女性は病院で診療を受けることができないなど、慣習に根差した課題は依然残っており、女性や妊産婦が保健医療サービスにアクセスしやすい環境づくりが求められています。

このような背景の中、ジョイセフは、プロジェクト地域で唯一の母子保健に特化したクリニックを運営し、女性医師、看護師、助産師が中心となり、女性と妊産婦、子どもたちに無償で保健医療サービスを提供し、周辺の村々で母子保健に関する啓発のために巡回教育活動を行ってきました。



## 1) 母子保健クリニックでの保健医療サービスの提供

プロジェクト地域の妊産婦と女性、子どもたちのべ約 3 万 7200 人に対し、保健医療サービスと産前・産後ケア、施設分娩、避妊薬（具）の提供、予防接種など母子保健に関連したサービスを提供しました。



（左上） 幼児健診を行う女性医師（右上） 助産師による産前健診 （左下） 子どもの発育測定  
（右下） 医薬品を処方する医学生インターン。クリニックでは助産師を目指す医学生の研修も行っています。

## 2) 母子保健の巡回教育活動の実施



助産師の資格を持つヘルスエドゥケーターが、プロジェクト対象 10 村の各家庭を訪問し、のべ約 4090 人の女性に直接母子保健に関する大切なメッセージを伝えました。

また、クリニックスタッフとともに、クリニックを訪れた妊産婦と女性のべ約 2 万 3300 人に、個別カウンセリングを含む啓発教育を行いました。



## 思い出のランドセルギフト

### 【配付期間】

2015年10～12月

2016年2月

【配付個数】 1万5780個

### 【配付地域および対象】

ナンガハール州ジャララバード市、  
シェワ郡、ベスード郡の小学校児童

【支援協力】 ランドセル・学用品：

個人、団体、企業（株式会社クラレ、  
アスクル株式会社、日本郵船グループ他）

「世界子供白書 2015」によれば、アフガニスタンの初等教育純出席率は、男子64%、女子48%と報告されています。つまり、就学年齢の女の子たちの半数以上が小学校で学ぶ機会を奪われていることとなります。

女の子は早ければ12～13歳で結婚させられることもあり、母体が十分に発達していない10代前半から出産を始め、何度も出産を繰り返して命を落とすこともあります。

女の子が教育を受ければ、保健・衛生・栄養等の知識をしっかりと身につけて、将来、自分と家族の健康を守ることができるようになります。

そこで、ジョイセフは、多くの支援者のみなさまのご協力により、使われなくなったランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てています。

2015年には、1万5780個のランドセルを、学用品やろうそくと一緒に児童に届けました。



ランドセル配付時には、保健衛生の健康教育も行っています。



## ランドセルストーリー



彼女の名前は、グラライ（9歳）です。  
ランドセルを受け取り喜ぶ子どもたちを、一人離れたところから悲しそうに見つめていました。

グラライは、この学校の生徒ではありません。戦禍を逃れて、近隣のバティコット郡から家族で避難してきました。将来は先生になりたいと夢見て毎日通っていた地元の小学校は、武装グループによって閉鎖されました。

グラライの父親は農業で生計を立てていましたが、今は日雇いの仕事で家族を支えています。家族7人が食べていくことすらままならない厳しい生活です。グラライも、避難先の小学校への転校をあきらめなければなりませんでした。

そして、2月4日。  
グラライが、家の手伝いで、クウアラ・サンギー小学校の近くに火を起こすための枯葉や枝を拾いに来たとき、ランドセル配付の光景に出会いました。

そして、この日は、グラライにとって、忘れられない日になりました。

日本から届いた、まだ真新しい黒のランドセルと学用品をもらったグラライは、両親の理解を得て、再び学校に通えるようになったのです。

新しくできた友だちと一緒に、小学3年生のグラライは、今日も楽しく学校で勉強しています。

